

冠水した市内住宅地(北海道開発局提供)



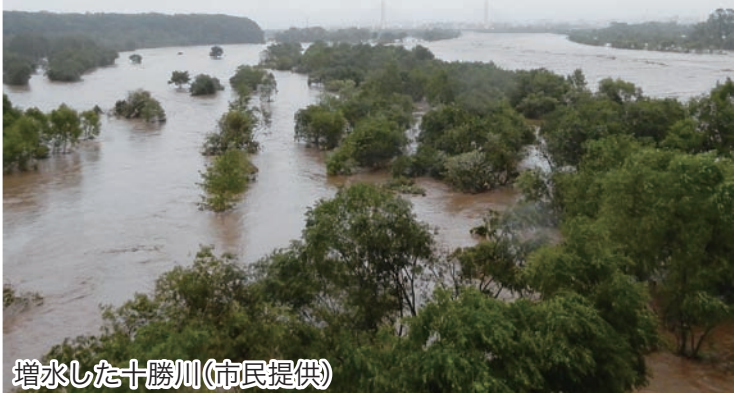
崩落した岩内町明星橋



大雨による 災害に備える

大雨による災害時の行動を再確認し、雨が多い季節に備えましょう。

問い合わせ 総務課 (市庁舎5階、☎65・4103)



増水した十勝川(市民提供)



浸水し破壊された札内川河川敷運動公園

Public Information OBIHIRO

おびひろ

広報

平成29年
(2017年)

No.1119

August

8

発行:帯広市
編集:政策推進部広報広聴課
〒080-8670
帯広市西5条南7丁目1番地
電話(0155)24-4111
FAX(0155)23-0151
帯広市ホームページ
<http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/>

データで知る帯広

6月末の人口と世帯数

人口▶167,695人
(前月比+68人)
男▶80,087人
女▶87,608人
世帯▶87,118世帯
(前月比+54世帯)

6月の火災発生件数

0件 (前月比-2件)

6月の家庭ごみ排出量

ごみ量 2,445t
(前年同月比+213t)
資源ごみ(Sの日)量 616t
(前年同月比+21t)

今月の紙面

「主役はあなた」の
介護予防……………3



住み慣れた地域でいつまでも
元気に暮らしていくために、
介護予防に取り組みましょう。

みんなで取り組む
『協働』のまちづくり… 4

子育てを応援しませんか
…………… 6

平成30年度採用
帯広市職員の募集……………13

近年、季節の変わり目になると、日本の上空に前線が停滞し、しばしば大雨を降らせています。傾斜の急な山や川が多い地域では、崖崩れや土石流、川の氾濫などが発生し、人々の生命が脅かされる自然災害が全国各地で発生しています。

さらに、短時間に狭い範囲で非常に激しく降る雨(ゲリラ豪雨)も頻発していて、特に道路が舗装された都市部では、雨水が地面に吸収されず、川の急激な増水、住宅の浸水といった被害が発生しています。

また、雨で増水した川を見に行つて流されてしまつたり、浸水

した道路で側溝の境界が見えにくいため転落する事故も発生しています。

35年ぶりとなる台風災害

帯広市では、昨年(2016年)の台風10号による大雨で、札内川と戸島別川の堤防が決壊したほか、橋の崩落、住宅地や畑の冠水など大きな被害が発生しました。付近の住民を対象に、35年ぶりとなる避難勧告などを発令する事態になりました。

「命を守る備え」が重要です。帯広市では、災害を未然に防ぐ「防災」に加えて、災害による被害を最小限に抑える「減災」の視点を重視しています。減災は災害時において、自分で自分の命を守る「自助」、地域や近所の人と互いに助け合う「共助」、国や自治体が支援する「公助」が、それぞれ機能することが重要です。

次頁では、皆さんに取り組んでほしい「自助」について紹介します。

「避難すべき状況なのか」「どこに避難すべきか」「避難するとき

「災害時の避難」呼びかけが変わりました
昨年12月に国は、災害発生の危険度に応じて住民避難を指示する名称を変更しました。

避難情報の状況ととるべき行動

危険度 小

避難準備・高齢者等避難開始 ※旧「避難準備情報」

- 災害が発生する可能性が高まっています。
- いつでも避難できるよう準備してください。
- 避難に時間を要する人、支援が必要な人は、避難行動を開始してください。

危険度 中

避難勧告

- 災害の危険が高まっています。
- 避難行動を開始してください。

危険度 大

避難指示(緊急) ※旧「避難指示」

- 人命に関わる危険が高まっています。
- 避難中の人は、直ちに避難を完了してください。
- 避難所への移動が間に合わない場合は、緊急的に命を守る行動をとってください。

※「おびひろ暮らしと防災ガイド2016(保存版)」は、従来の名称を用いているので、読み替えてください。

「平成28年台風10号による災害対応の検証結果」を5月に公表

昨年の台風10号で明らかになった課題について検証し、その対応策などを整理しました。詳細は、総務課で閲覧できるほか、市ホームページでご覧になれます。

命を守るための備え

災害に見舞われたとき、まず、すべきことは、自分の命を守る行動「自助」です。自分が無事なら、周囲の人を「救助する人」になります。

非常持ち出し品の準備

大災害時には電気、水道、ガスといったライフラインが使えなくなり、また、食料や生活必需品が手に入りにくくなります。日ごろから食料や飲料水など、必要なものを備蓄しましょう。(表1)

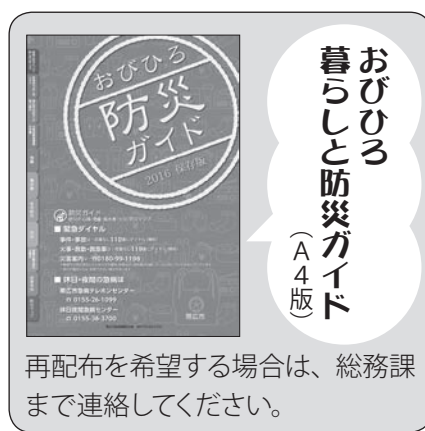
⚠️ 注意点

非常持ち出し品は、すぐに持ち出せるように、リュックサックに詰めて、玄関に置きましょう。

浸水想定区域などを確認

浸水想定区域とは、川が氾濫し、浸水が想定される場所のことです。自宅がどの区域に当たるかを確認しておきましょう。浸水想定区域や避難所は、昨年11月に全

戸配布した「おびひろ暮らしと防災ガイド2016(保存版)」をご覧ください。



再配布を希望する場合は、総務課まで連絡してください。

⚠️ 注意点

職場や学校にいる時に、災害が発生した場合の避難所がどこなのか、家族で確認しておくことも大切です。

最新の災害情報を集める

激しい雨風や川の流れる音、サイレンなど、「何かいつもと違うな」と感じたなら、自ら情報を集めましょう。市や国からも随時、災害情報を発信します。(表2) 得られた情報は、家族、近所など周囲の人に知らせましょう。

表1 非常持ち出し品リスト(※1次持ち出し品)

<input type="checkbox"/> ペットボトル飲料水 (500ml×6本、大人1人当たりの目安)	
<input type="checkbox"/> 常備薬・持病薬など	
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	
<input type="checkbox"/> 懐中電灯	
<input type="checkbox"/> 電池	
<input type="checkbox"/> 非常用食料	<input type="checkbox"/> 三角巾
<input type="checkbox"/> ろうそく・ライター	<input type="checkbox"/> マスク
<input type="checkbox"/> 万能ハサミ	<input type="checkbox"/> レジャーシート
<input type="checkbox"/> 軍手・手袋	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ
<input type="checkbox"/> ロープ	<input type="checkbox"/> タオル
<input type="checkbox"/> 毛抜き	<input type="checkbox"/> ポリ袋
<input type="checkbox"/> 消毒薬	<input type="checkbox"/> トイレットペーパー
<input type="checkbox"/> 脱脂綿	<input type="checkbox"/> ウエットティッシュ
<input type="checkbox"/> ガーゼ	<input type="checkbox"/> ガムテープ
<input type="checkbox"/> 絆創膏	<input type="checkbox"/> 油性マジック
<input type="checkbox"/> 包帯	<input type="checkbox"/> 筆記用具
<input type="checkbox"/> サバイバルブランケット	<input type="checkbox"/> 現金(10円玉) (公衆電話用)
●下記は個々の状況によって必要性が異なります	
<input type="checkbox"/> 貴重品類	<input type="checkbox"/> 女性用品
<input type="checkbox"/> 高齢者用品	<input type="checkbox"/> 赤ちゃん用品

表2

市が発信する災害情報

緊急時は、市ホームページのトップページに、「緊急・警戒情報」を掲載するほか、市フェイスブック、市ツイッターで災害状況や避難情報、避難所開設情報などを発信します。また、コミュニティーFM局との協定により、きめ細やかなラジオ放送を行います。

市ホームページ

市フェイスブック

市ツイッター

↑ QRコードで簡単アクセス ↑

緊急速報メール

- 市** 災害状況や避難情報など、緊急を要するときは、登録の有無に関わらず市内全域の携帯電話に、市から「緊急速報メール」を配信します。
- 国** 国が管理する十勝川の水位が上昇し、氾濫の恐れがあるときや、氾濫が発生したときは、国土交通省から「緊急速報メール」が届きます。

問い合わせ 国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部治水課 ☎24・4105

配信内容

緊急速報メール

【訓練】避難勧告発令
【これは緊急速報メールの訓練配信です】
帯広市からの発表
十勝川の増水により、9時00分に第一中学校周辺に避難勧告を発令しました。
次の施設を避難所として開設しています。
・第一中学校
周囲の状況をよく確認し、避難行動を行ってください。
(帯広市)

緊急速報メールの訓練配信を行います

下記の配信日時に、帯広市内にいる人の携帯電話やスマートフォンなどに一斉に配信します。受信にかかる通信料は無料です。マナーモードにしても着信音が鳴る場合があるので、不都合がある場合は、電源を切ってください。
配信日時 9月3日(日)、9時頃

⚠️ 注意点

訓練配信を受信できなかった場合は、実際の災害時にも受信できない可能性があります。携帯電話販売店などに確認し、受信できるように備えてください。

⚠️ 注意点

より確かな情報を得るために、多くの情報を入力することが重要です。



▼テレビ
天気予報や災害情報など、多くの情報が得られます。データ放送(リモコンのdボタン)は、市が発令する避難情報や、避難所開設情報も見ることができます。

▼ラジオ

電池式の小型ラジオは持ち歩きに便利で、停電の影響も受けにくいので必需品です。また、地域に密着したチャンネル「コミュニティーFM放送」(FM WING 76・1MHz、FM JAGA 77・8MHz)は重要な情報源です。
▼パソコン・携帯電話・スマートフォン
最も身近にある通信手段で、周囲との連絡に加え、気象情報や災害情報なども得ることができて、非常に有効です。
▼広報車
広報車や消防車などで、避難の呼び掛けを行います。

避難するときには

災害の危険が高まったときには、隣近所で声を掛け合い、お互いの状況を確認することが大切です。特に、高齢者や介護・介助が必要な人などには、早めの状況確認と避難誘導が必要です。

⚠️ 注意点

災害の危険が少ない段階で、避難に時間的な余裕がある場合は、遠くても浸水しない避難所へ、遠くへ避難できない人や緊急の場合には、近くの避難所の高層階へ避難してください。
・悪天候のときに川の様子を見に行くことは大変危険です。絶対に行き止めてください。

地域防災訓練の参加者募集

「自らの命は自ら守る」をテーマに、今年度は啓北連合町内会と市が共催し、住民参加型の防災訓練を実施します。

啓北連合町内会地域以外からの参加希望者は、申し込みが必要です。
日時 9月3日(日)、9時～13時
場所 第一中学校(西13北7)
申し込み 8月9日(水)までに、電話で総務課へ。



※1次持ち出し品 避難時にすぐに持ち出すべき必要最小限の備えで、被災時・非常時の最初の1日をしのぐための物品です。避難生活が長期化した時のために、3日間程度をしのぐ「2次持ち出し品」を備えておくことも大切です。(2次持ち出し品は暮らしと防災ガイドをご覧ください)